

知床における国民参加の森林づくり活動等の推進に関するビジョン 要 旨

1 ビジョン策定の趣旨

本ビジョンは、世界自然遺産に登録された知床半島において、国民の森林づくりに対する機運や地球温暖化防止対策等に対する意識を高めていくため、個人や企業・団体等の多様な主体の参加による森林づくり活動や森林環境教育の推進体制、支援の仕組みの構築に向けた今後の取組の推進方向を示すものとして、知床永久の森林づくり協議会での議論を踏まえて取りまとめたもの。

2 ビジョン策定の背景

(1) 森林を取り巻く社会的背景

- ・ 二酸化炭素吸収源としての森林への期待の高まり
- ・ 森林ボランティア活動の活発化や企業の環境分野での社会貢献活動の動き
- ・ 学校教育における体験活動や森林環境教育へのニーズの高まり
- ・ 癒しや健康づくりなどの森林の多様な機能に対する国民の関心の高まり

(2) 知床の森林を取り巻く現状と課題

ア 知床の自然の特徴

知床半島は、海陸一体となった独自の生態系を有し、世界的にも貴重な自然環境が保存されている地域として世界自然遺産に登録。知床の針葉樹と広葉樹が混ざり合った森林（針広混交林）は知床の森林の典型。

イ 現状と課題

- ① エゾシカの個体数が高密度で推移し、「知床半島エゾシカ保護管理計画」に基づき対策を推進。樹木被害も年々増加しており、被害の防除対策とともに野生動物と森林の現状を考える機会を広く提供していくことが必要。
- ② 知床の世界自然遺産の周辺には、人工林が散在しており、針広混交林への誘導など遺産地域と連続した森林として適切に整備していくことが必要。
- ③ 知床では、知床五湖や羅臼湖など一部の観光スポットに来訪者が集中することによる植生荒廃等が問題となっており、魅力ある新たなフィールドの創出が必要。

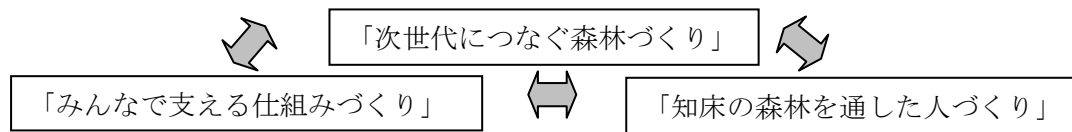
3 知床における森林づくり活動等の目標像

(1) 基本理念

「国民の財産『知床の森林』をみんなで支え、次世代につなごう」

- ・ 「知床の森林」を国民全体で永久に守り育てていくため、知床の森林づくり活動等に対し、個人、企業、団体等の多様な主体に参加・支援をいただくとともに、知床に訪れるリピーターを増やし、各地に知床の森林を支えるサポーターをつくること
- ・ 学校での体験学習及び企業や団体の研修等における知床での森林づくり活動等を契機として、森林の整備や保全、地球温暖化等の環境問題について、考えるだけでなく行動して支える機運を醸成すること
- ・ 森林や動物といった自然科学だけでなく社会科学等も含めた幅広い分野における専門家の調査研究や活動を有効に活用しながら、知床の森林をフィールドとして、より多くの層に対し、自然の雄大さを考えるきっかけをつくり提供していくこと

<基本理念の3つの柱>



(2) 目指す森林の姿

「野生生物を育む生態系豊かな森林」

→ 【森林づくりエリア】

「感動・楽しみ・学びを体験し、交流を生む森林」

→ 【森林に学び楽しむエリア】

4 取組の推進方向

(1) 知床の森林をフィールドとした森林づくり活動等の提案

ア 活動の考え方

アクセス状況や地域の関係者の意見等を踏まえ、当面の活動内容の考え方を整理。

【森林づくりエリア】 斜里町「日の出地区」、羅臼町「春刈古丹地区」等

【森林に学び楽しむエリア】 斜里町「オシンコシンの滝周辺天然林」、羅臼町「春刈古丹地区」等

イ プログラム・ツアーの検討

より幅広い層の方々に、知床における森林づくり活動に参加していただくため、

① 知床ならではの魅力あるプログラムの検討

② 参加者層や参加形態に応じたツアー・プログラムの提案

③ 継続的に森林づくりに関わる仕組みの提案 等を推進。

今後、地元関係者や専門家等の意見を伺いながらプログラム・ツアーを具体化。

ウ 既存の委員会等との連携、活動に当たっての留意事項 等

知床における既存の委員会等に対し、森林づくり活動や森林環境教育の企画等について報告するとともに、各委員会等からの情報も得ながら連携して取組を推進。

また、森林づくり活動において植樹を行う際には、苗木の産地について配慮。

(2) 知床の森林を次世代につなぐための体制づくり

地域の協力や企業等の支援を得ながら継続的に活動するため、地元の団体や関係機関等との合意形成を図るとともに、資金運用の透明性を確保しながら活動を運営するNPO法人等の安定した新しい組織づくりを推進。協議会と連携し、個人や団体、教育機関のツアー等を受け入れる体制を整備するとともに、目指す森林の実現に向けた取組手法等を検討。

(3) 知床の森林をみんなで支える仕組みづくり

社会貢献活動としての企業支援や個人からの支援など、全国各地から様々な形で知床の森林づくり活動等を支援できる仕組みを構築するため、支援の受け入れ体制の整備とともに、企業のメリットも含めた支援の仕組みを検討し、企業に対する提案・要請を推進。

【例】 ・テーマ性のある活動プログラムへの資金助成

・苗木、エゾシカ食害防除ネットなど活動に必要な資材の提供

・売上の一部が知床の森林づくり活動に寄付される知床の土産品の販売 等

(4) 効果的な情報発信・PR活動

知床の森林づくり活動等のプログラム・ツアーの企画や活動支援の仕組みについて、HPの立ち上げや情報通信関連企業等と連携した情報発信のほか、教育委員会や環境教育に取り組む団体等を通じた普及啓発、北海道産品フェア等の機会の活用など効果的なPR活動を推進。

また、我が国の貴重な森林環境の理解の醸成を図るため、異なる自然条件下にある他の自然遺産地域（白神山地・屋久島）や遺産候補地（小笠原）の活動とも連携した取組を推進。